



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月14日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2831 URL http://www.hagoromofoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鳥羽山 宏史 TEL 054-354-5000
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	56,134	△3.7	402	—	982	—	3,228	—
25年3月期第3四半期	58,274	△3.8	△594	—	△51	—	△125	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,301百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 32百万円 (△96.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	171.44	—
25年3月期第3四半期	△6.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	44,976	20,687	46.0	1,098.58
25年3月期	47,369	19,670	41.5	1,044.46

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,687百万円 25年3月期 19,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,800	△2.1	20	—	690	—	3,440	—	182.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	20,650,731株	25年3月期	20,650,731株
26年3月期3Q	1,819,502株	25年3月期	1,817,885株
26年3月期3Q	18,831,801株	25年3月期3Q	18,833,732株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続きは平成26年2月7日に終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的に妥当であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 平成26年3月期第3四半期決算短信（連結）補足説明	9
(1) 売上高・利益の増減要因等	9
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、コーポレートメッセージである「人と自然を、おいしくつなぐ」をテーマに企業活動に取り組みました。

特に収益の改善を最優先課題とし、生産・販売一体となって原料価格の高騰している「ツナ」製品等の値上げ、製造コスト・販売費の圧縮、一般管理費の削減等に努めました。

売上高は、「野菜をおいしくシーチキン」キャンペーン、「ジャンボ宝くじプレゼント」キャンペーンを展開し消費者の需要創造に努めましたが、10月に発生した「シーチキンマイルド」シリーズの自主回収の影響により、561億34百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

営業利益は、販管費の削減等により4億2百万円（前年同期△5億94百万円）、経常利益は9億82百万円（同△51百万円）となりました。

四半期純利益は、投資有価証券の売却等により、32億28百万円（同△1億25百万円）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第3四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製 品	家 庭 用 食 品	ツナ	24,901,394	42.7	23,119,503	41.2	△1,781,890	△7.2
		デザート	3,459,060	5.9	3,658,966	6.5	199,905	5.8
		パスタ&ソース	5,762,677	9.9	5,360,879	9.5	△401,798	△7.0
		総菜	5,249,140	9.0	5,196,776	9.3	△52,363	△1.0
		削りぶし・海苔・ふりかけ類	4,423,349	7.6	3,952,311	7.0	△471,037	△10.6
		ギフトセット・その他食品	3,529,738	6.1	3,246,607	5.8	△283,131	△8.0
		計	47,325,361	81.2	44,535,045	79.3	△2,790,316	△5.9
		業務用食品	8,975,402	15.4	9,577,096	17.1	601,693	6.7
		ペットフード・バイオ他	1,532,736	2.6	1,546,952	2.8	14,215	0.9
		計	57,833,501	99.2	55,659,094	99.2	△2,174,406	△3.8
	その他	440,590	0.8	475,821	0.8	35,230	8.0	
	合計	58,274,091	100.0	56,134,916	100.0	△2,139,175	△3.7	

(注) 1. 上記金額には、消費税等を含みません。

2. 前期まで「ツナ」に計上していた一部製品を、当期より「総菜」に変更しました。前年同期実績についても、当該分809,444千円を「ツナ」から「総菜」に組み替えています。

3. 前期まで「ギフトセット・その他食品」に計上していた一部製品を、当期より「削りぶし・海苔・ふりかけ類」に変更しました。前年同期実績についても、当該分187,765千円を「ギフトセット・その他食品」から「削りぶし・海苔・ふりかけ類」に組み替えています。

「ツナ」では、「野菜をおいしくシーチキン」キャンペーンを基軸に、「人參しりしりシーチキン」のメニューを訴求、バック品を対象とした「ジャンボ宝くじプレゼント」キャンペーンの実施や、びんが鮪を原料とした期間限定の「一本釣り」シリーズの販売を強化しました。しかし「シーチキンマイルド」シリーズの自主回収の影響により販売促進の機会が減少し、売上高は前年同期比7.2%減少しました。

「デザート」では、円安による他社輸入品の減少や夏季・年末の需要期に販売促進の機会が増加し、主力の「朝から」シリーズやパウチ製品が販売数量を伸ばしたことで、売上高は同5.8%増加しました。

「パスタ&ソース」では、簡便性・メニューに特化した新製品「ポポロスパ12.5」・「ナポリタンによく合うポポロスパ」の販売促進をはかりましたが、主力製品の「ポポロスパ結束」・「サラspa」等の販売が苦戦したことで、売上高は同7.0%減少しました。

「総菜」では、主力製品の「シャキッとコーン」が前年同期を下回る販売となりましたが、味や利便性が見直されたおかげで、おつまみ缶詰や「健康」パウチシリーズの新製品、「やんわか」シリーズ等の販売数量が増加したことで、売上高は同1.0%減少にとどまりました。

「削りぶし・海苔・ふりかけ類」では、「サラダ専用」シリーズ・「かみきれ〜」等の差別化製品の販売促進を強化しましたが、主力製品の「味付おかずのり」等が他社の廉価販売の影響を受け、販売数量が減少したことで、売上高は同10.6%減少しました。

「ギフトセット・その他食品」では、シニア層をメインターゲットにした「やんわかごはん」を中心に、包装米

飯は堅調な販売となりましたが、ギフトセットの販売が苦戦して、売上高は同8.0%減少しました。

「業務用食品」では、大手CVS・外食ユーザーの新規メニューに採用された、ツナ・フルーツ・スイートコーンの販売が好調に推移したことにより、売上高は同6.7%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、国産製品の新品が伸長したペットフードや、相場が上昇したフィッシュミールの販売が好調に推移したことにより、売上高は同0.9%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の内容

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より23億92百万円減少して、449億76百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が22億8百万円増加したものの、商品及び製品が10億88百万円、投資有価証券が32億90百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より34億10百万円減少して、242億89百万円となりました。これは、主に販売促進引当金が13億61百万円増加したものの、未払金が27億40百万円、借入金（純額）が15億40百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より10億17百万円増加して、206億87百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が20億84百万円減少したものの、利益剰余金が29億46百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の41.5%から46.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社は平成25年10月より缶詰製品「シーチキンマイルド」シリーズの一部を自主回収しています。

これによりいったん取り止めていました平成26年3月期の通期連結業績予想をあらためて公表します。

売上高につきましては、引き続き「野菜をおいしくシーチキン」キャンペーン等を実施し消費者の需要創造に努めますが、前述の自主回収の影響が残っております。

売上原価につきましては、製造コストの圧縮を継続しますが、為替相場の円安・主要原料価格の高値推移など、原価を引き上げる要因が継続されると考えます。

販売費及び一般管理費につきましては、引き続き販売奨励金の効果的使用や全社挙げての一層の経費低減策を実施していきます。

以上により平成26年3月期の連結業績は、売上高718億円（前期比2.1%減）、営業利益20百万円（前期は△17億30百万円）、経常利益6億90百万円（前期は△10億87百万円）を見込んでいます。固定資産の売却等による特別利益を計上し、当期純利益は34億40百万円（前期は△26億1百万円）を見込んでいます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,361	1,273,279
受取手形及び売掛金	12,020,777	14,229,667
商品及び製品	6,048,312	4,960,294
仕掛品	146,728	110,995
原材料及び貯蔵品	3,235,909	2,955,076
その他	2,227,907	2,348,240
貸倒引当金	△1,586	△1,618
流動資産合計	24,550,410	25,875,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,867,268	4,608,395
土地	4,618,598	4,582,611
その他(純額)	3,006,105	2,900,419
有形固定資産合計	12,491,971	12,091,426
無形固定資産		
投資その他の資産	359,246	383,233
投資有価証券	9,669,584	6,378,709
その他	322,752	269,838
貸倒引当金	△24,448	△22,215
投資その他の資産合計	9,967,887	6,626,332
固定資産合計	22,819,104	19,100,992
資産合計	47,369,515	44,976,927
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,947,596	11,521,306
短期借入金	3,400,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,340,000	280,000
未払金	4,513,379	1,772,469
未払法人税等	9,262	518,903
売上割戻引当金	23,277	294,175
販売促進引当金	4,954	1,366,613
賞与引当金	328,602	175,653
その他	569,307	841,040
流動負債合計	22,136,379	18,270,163
固定負債		
長期借入金	1,560,000	2,980,000
退職給付引当金	698,435	724,400
役員退職慰労引当金	626,378	651,928
資産除去債務	16,463	16,710
その他	2,661,676	1,646,069
固定負債合計	5,562,952	6,019,108
負債合計	27,699,332	24,289,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	15,384,437	18,330,441
自己株式	△2,149,064	△2,150,828
株主資本合計	15,619,471	18,563,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,372,584	2,287,895
繰延ヘッジ損益	119,618	86,610
為替換算調整勘定	△441,491	△250,561
その他の包括利益累計額合計	4,050,711	2,123,944
純資産合計	19,670,182	20,687,656
負債純資産合計	47,369,515	44,976,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	58,274,091	56,134,916
売上原価	39,330,374	38,472,171
売上総利益	18,943,717	17,662,744
販売費及び一般管理費	19,538,523	17,260,690
営業利益又は営業損失(△)	△594,805	402,054
営業外収益		
受取利息	279	148
受取配当金	186,522	198,138
持分法による投資利益	61,216	111,392
受取手数料	259,937	229,755
その他	151,579	150,792
営業外収益合計	659,536	690,227
営業外費用		
支払利息	34,667	35,209
売上債権売却損	12,577	10,872
貸貸収入原価	52,281	49,527
たな卸資産処分損	4,792	825
その他	12,287	13,357
営業外費用合計	116,605	109,792
経常利益又は経常損失(△)	△51,875	982,489
特別利益		
固定資産売却益	849	68,822
投資有価証券売却益	—	2,728,480
補助金収入	174,035	—
特別利益合計	174,884	2,797,303
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2,995	—
固定資産除却損	19,812	9,178
減損損失	202,301	—
投資有価証券売却損	—	3,748
投資有価証券評価損	—	2,914
ゴルフ会員権売却損	—	1,000
特別損失合計	225,108	16,840
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△102,099	3,762,952
法人税等	23,536	534,464
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△125,635	3,228,487
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△125,635	3,228,487

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△125,635	3,228,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,474	△2,084,688
繰延ヘッジ損益	72,842	△33,008
持分法適用会社に対する持分相当額	△30,134	190,930
その他の包括利益合計	158,183	△1,926,766
四半期包括利益	32,547	1,301,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,547	1,301,720
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

固定資産の譲渡

当社は、平成25年12月11日開催の取締役会において固定資産の譲渡を決議し、平成25年12月17日付で以下のとおり不動産売買契約を締結しました。当該譲渡資産の物件引渡期日は平成26年3月31日を予定しており、当該譲渡資産の売却益は、当連結会計年度の特別利益に計上する予定です。

① 譲渡の理由

資産の効率的活用および財務体質の改善を図るため、保有資産を譲渡することとしました。

② 譲渡資産の内容

(百万円)

資産の内容および所在地	譲渡価額	帳簿価額 (予定)	譲渡益 (予定)	現況
土地・構築物 他 (静岡市清水区穴原字神田796番1他 80,072㎡)	1,700	1,090	608	事業用地

(注) 譲渡益は譲渡価額から帳簿価額と諸経費を控除しています。

③ 譲渡先の概要

名 称	清和海運株式会社		
所 在 地	静岡市駿河区森下町1-35		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宮崎總一郎		
事 業 内 容	一般港湾運送事業・倉庫業・通関業・船舶代理店業・航空貨物取扱業・自動車運送取扱業		
資 本 金	1億67百万円		
設 立 年 月 日	昭和24年8月3日		
当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当ありません	
	人 的 関 係	該当ありません	
	取 引 関 係	製品の運送・保管委託	
	関連当事者への該当状況	該当ありません	

④ 譲渡の日程

取締役会決議日	平成25年12月11日
契約締結日	平成25年12月17日
物件引渡期日	平成26年3月31日(予定)

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

4. 平成26年3月期第3四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位: 百万円、%)

	前年同期		当第3四半期		前年同期比		前年同期比増減要因等
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	100.0 58,274		100.0 56,134		△2,139	96.3	販売函数 △ 4.8% △ 660千函 製品群別売上高 ・ツナ △ 7.2% △1,781百万円 ・削りぶし/海苔 △ 10.6 △ 471 /ふりかけ類 ・パスタ&ソース △ 7.0 △ 401 ・業務用食品 + 6.7 + 601
売上原価	67.5 39,330		68.5 38,472		△858	97.8	・売上原価 △ 2.2% △ 858百万円 ・原料価格・為替円安の影響 売上原価率 + 1.0ポイント
売上総利益	32.5 18,943		31.5 17,662		△1,280	93.2	
販売費及び一般管理費	33.5 19,538		30.8 17,260		△2,277	88.3	・販売奨励金 △ 9.5% △1,196百万円 ・広告宣伝費 △ 73.5 △ 496 ・給料及び手当 △ 16.4 △ 204
営業利益	△1.0 △594		0.7 402		996	—	
営業外損益	0.9 542		1.1 580		37	106.9	・持分法投資利益 +182.0% + 50百万円 ・受取配当金 + 6.2 + 11 ・受取手数料 △ 11.6 △ 30
経常利益	△0.1 △51		1.8 982		1,034	—	
特別損益	△0.1 △50		4.9 2,780		2,830	—	・投資有価証券売却益 2,728百万円
税金等調整前四半期純利益	△0.2 △102		6.7 3,762		3,865	—	
法人税等	0.0 23		0.9 534		510	—	
四半期純利益	△0.2 △125		5.8 3,228		3,354	—	

設備投資額	535	559	23	104.4	無形固定資産含む
減価償却費	1,093	894	△198	81.8	無形固定資産分含む

《ご参考》

(単位: 円/kg、%)

きはだ鮪 価格	617.3	661.5	44.2	107.2	出所: (社)漁業情報サービスセンター(JAFIC) 「産地情報」 各冷凍品の4~12月平均価格 (当社で月次価格を水揚量により加重平均した) ※当データには、当社で使用している原料用 途以外の価格も含まれています。
かつお 価格	185.7	201.2	15.5	108.3	

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位：百万円、%)

	前年同期	当第3四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金(引当金繰入額含む)	12,601	11,404	△ 1,196	90.5
広告宣伝費	676	179	△ 496	26.5
荷造運賃	1,584	1,522	△ 62	96.1
保管料	600	575	△ 25	95.7
役員報酬	260	229	△ 31	88.0
給料及び手当	1,246	1,041	△ 204	83.6
賞与(引当金繰入額含む)	320	296	△ 23	92.5
退職給付費用	148	140	△ 7	94.7
旅費及び交通費	248	215	△ 32	86.7
減価償却費	203	160	△ 43	78.6
賃借料	343	320	△ 22	93.5
研究開発費	169	138	△ 31	81.5
その他	1,135	1,037	△ 97	91.4
合計	19,538	17,260	△ 2,277	88.3